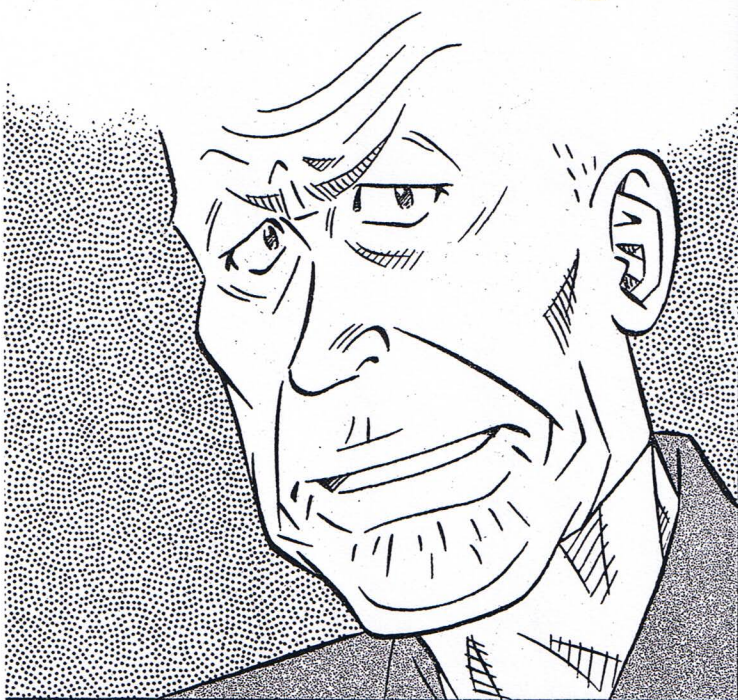


ええか子門、
加飾というのは
あくまでも
腕の飾りや。

日常を
美しく、楽しく
魅せるために
つけるもんや。

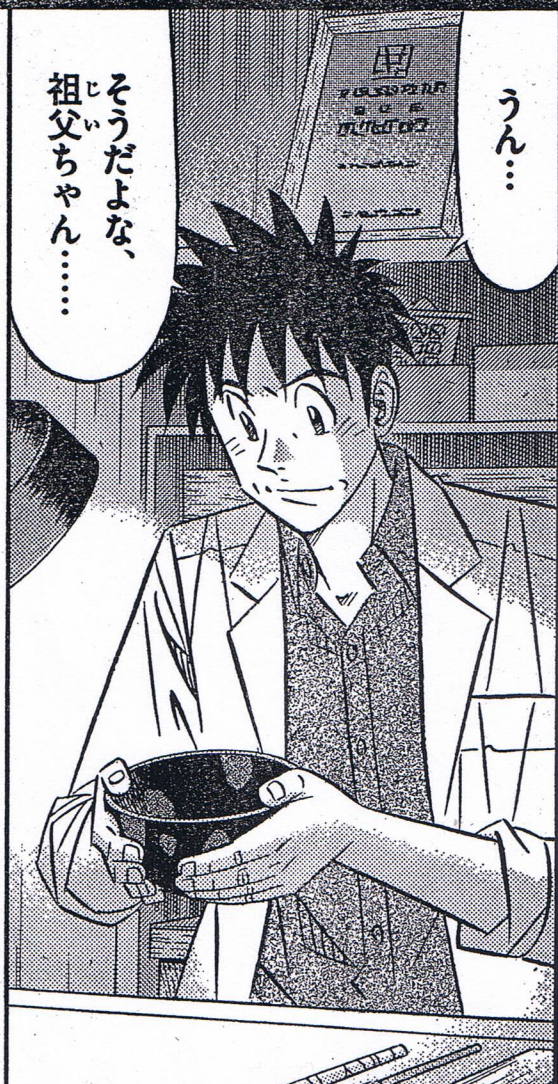
美術品のように
床の間に飾って
使わんようになった
腕は腕やない。

儼^{ワシ}ら職人は
あくまで普段に
使われるお腕を
作つとるんや。



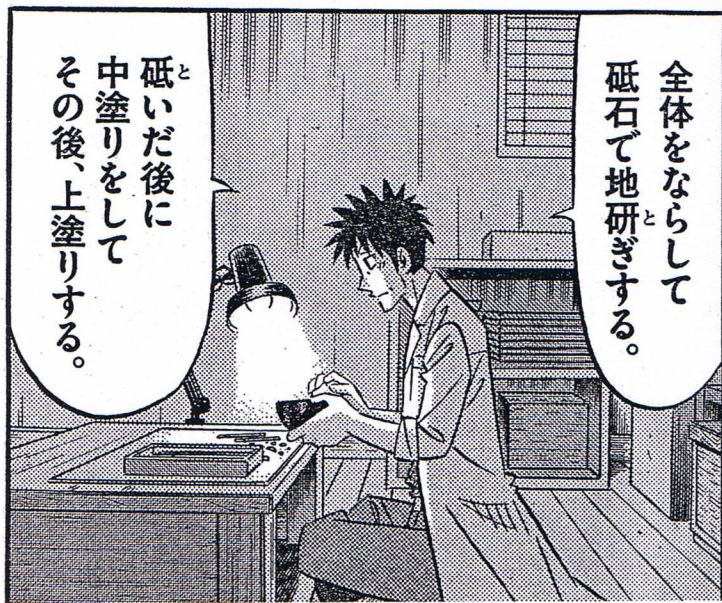
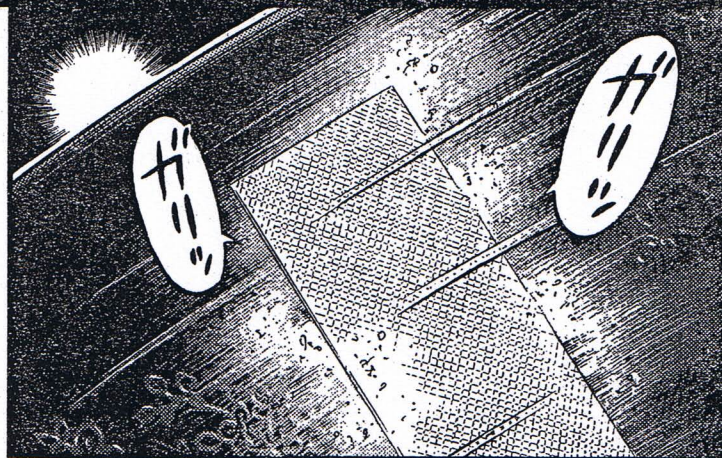
うん…

そうだな、
じいちゃん…
祖父ちゃん…



全体をならして
砥石で地研ぎする。

砥^といだ後に
中塗りをして
その後、上塗りする。



お椀の胴の
カーブに合わせた
ヘリのカーブのR(曲率)が
あるんだったな。

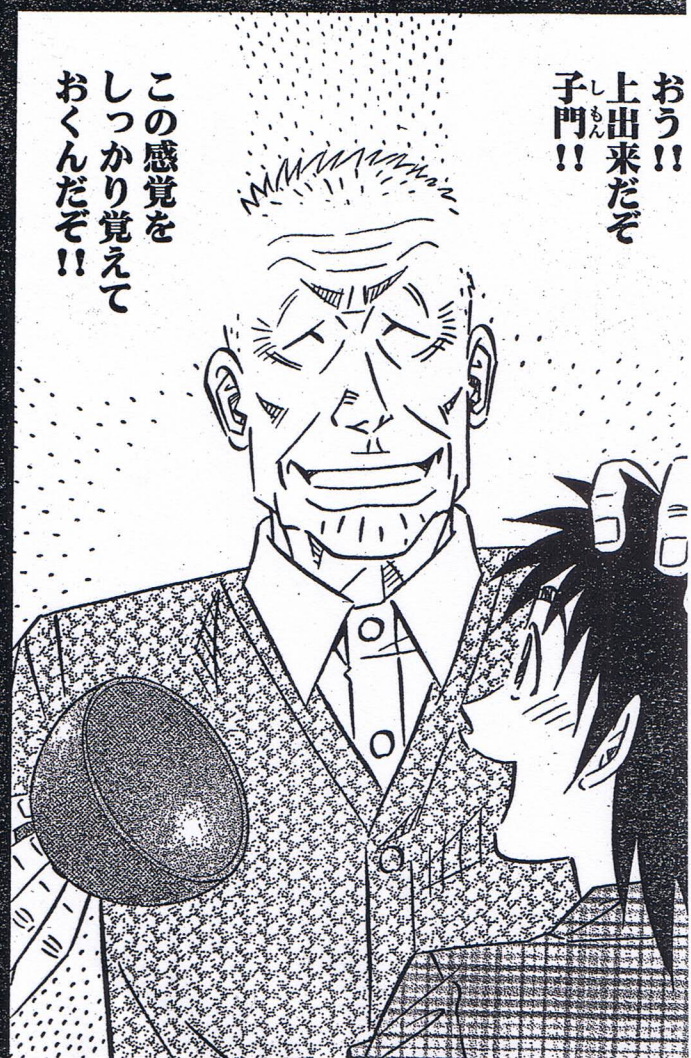
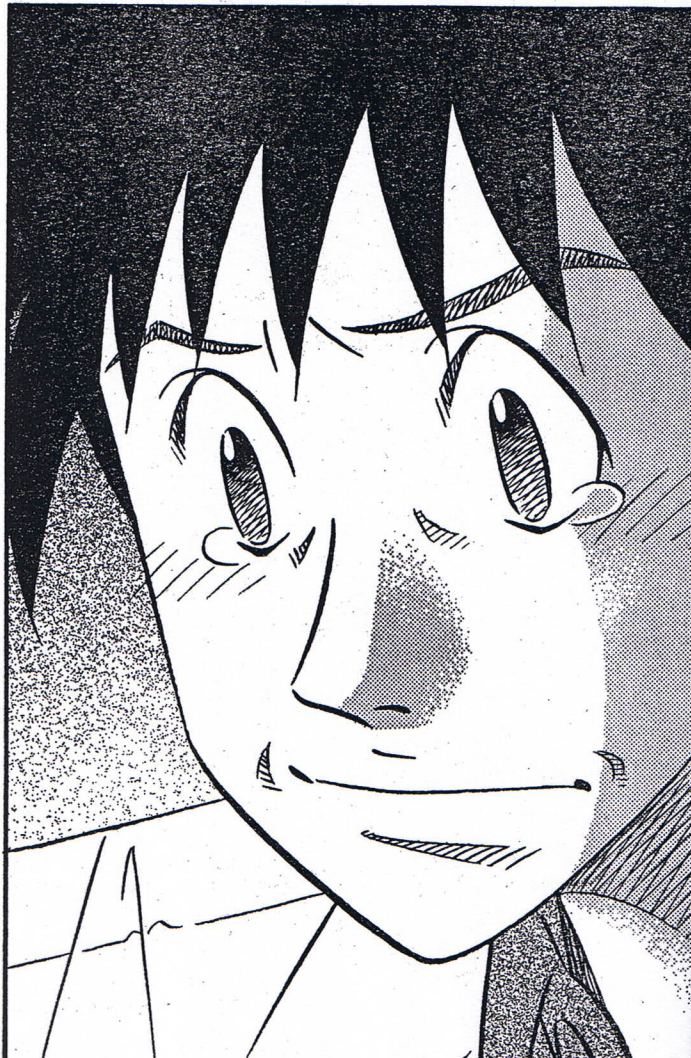
この僅かな丸め方の差が、
何ともいえない
お椀の品格を
作りあげているんだ。

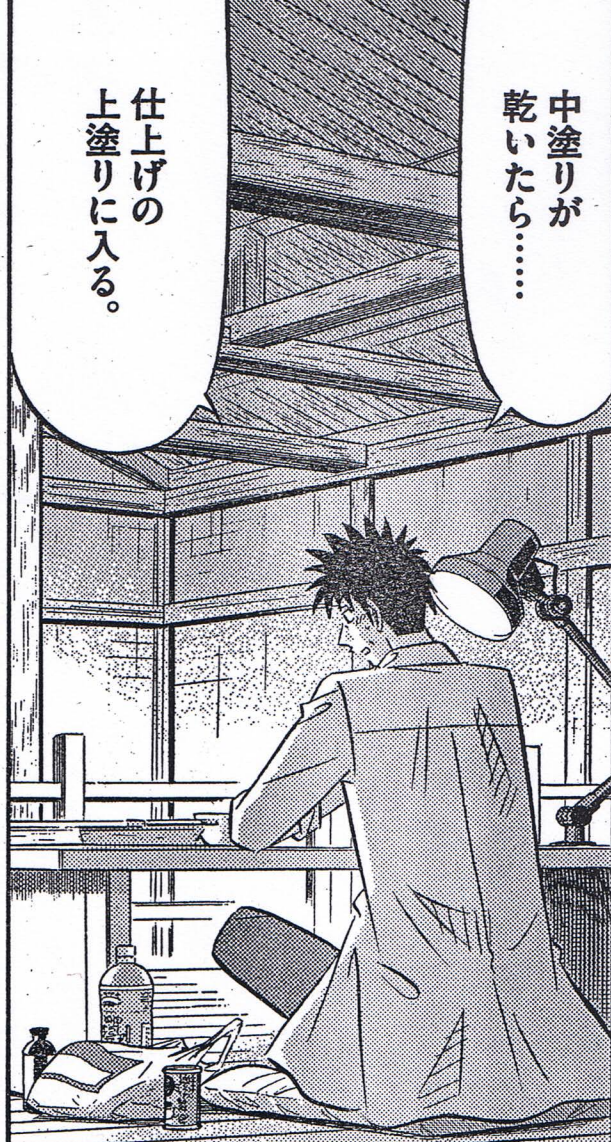
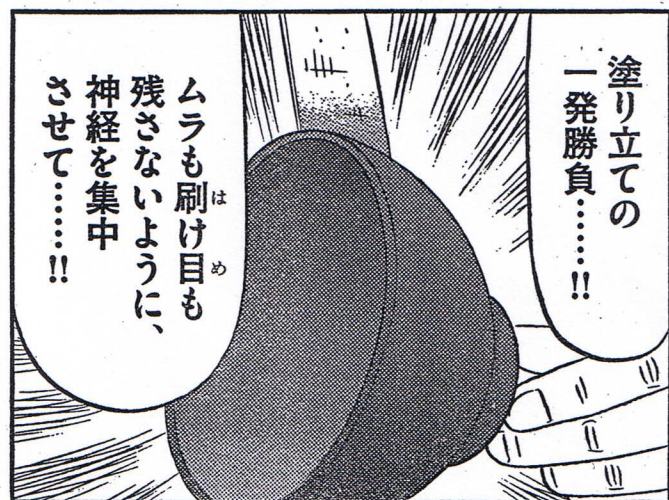
ダメだダメだ!!
お椀の形にあった
丸め方が自然と
できるようになって
おくんだよ!!

理屈じゃ
ねえんだ!!
からだ
身体に叩き込んで
おくんだよ!!

おう!!
上出来だぞ
しもん
子門!!

この感覚を
しっかり覚えて
おくんだぞ!!





11



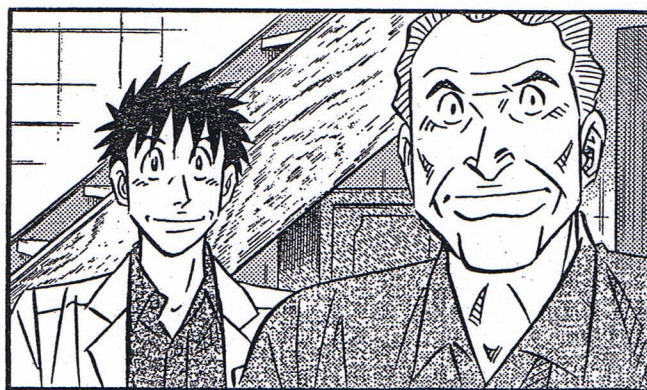
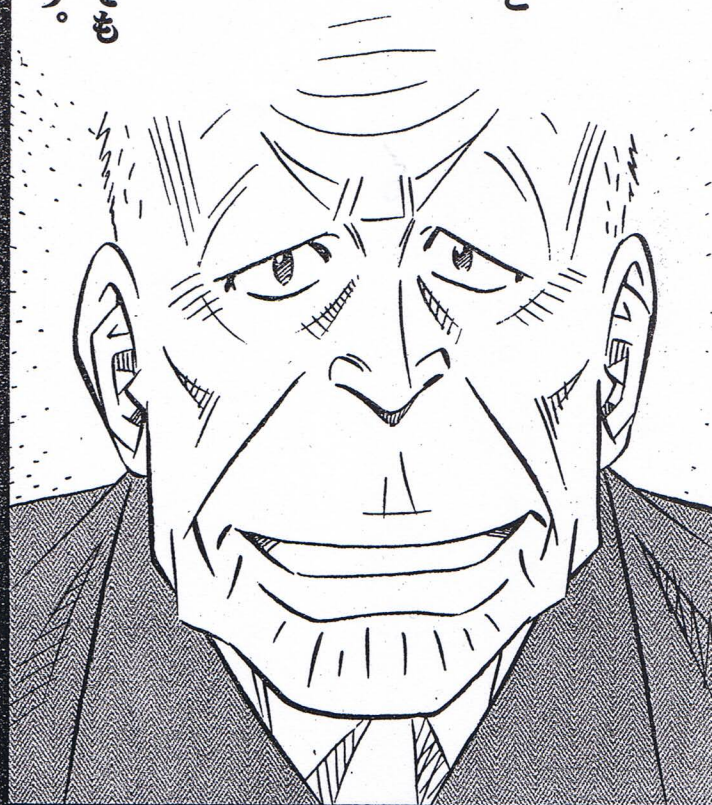
10

しかし、この漆器は
国産の最上級の漆を
思いきり使うて、
最高のものができた
自負しております。

長う大切に使うて
いただいても、もしも
壊れたとしても、
儂か儂の仲間がいつでも
修理してしんぜましょう。

その言葉通り、
こんなにキレイに
修理してもらって
……!!

これから
大事に使わせて
もらいますよ。



18

父さん……

祖父さんが
修理もんばかり
やっていたのは、
伝統工芸の未来を
知っていたからなんだよ。

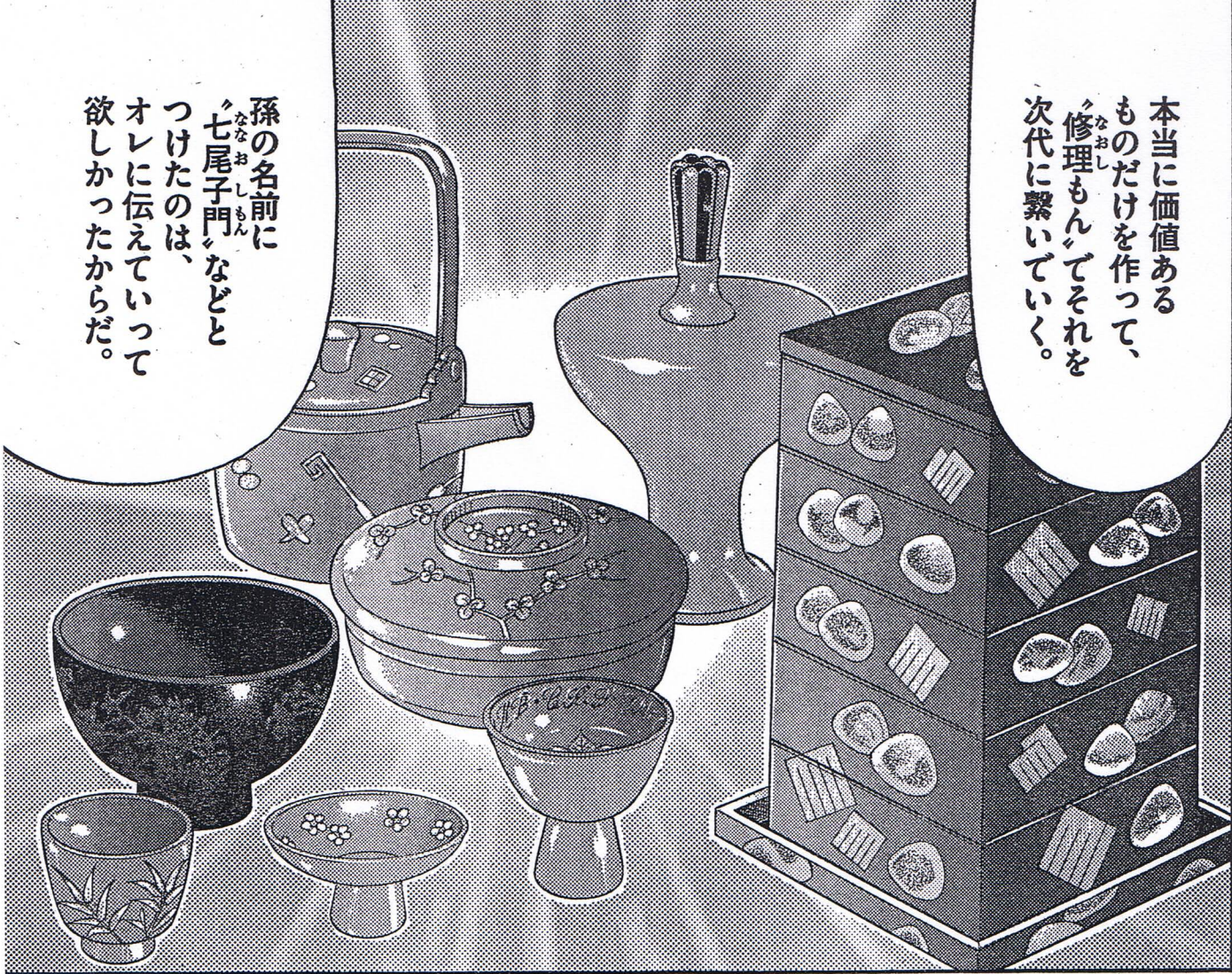
生活様式が変わり、
経済が悪化して、
世間が高価な
伝統工芸品に
背を向けた時……

漆器作りの生きる道は、
大衆に迎合した安価な
製品を作ることより、
本当に価値あるものを
未来に残すことなんだ。



本当に価値ある
ものだけを作って、
修理も^{なおし}んでそれを
次代に繋いでいく。

孫の名前に
^{ななおしもん}
七尾子門などと
つけたのは、
オレに伝えていつて
欲しかったからだ。



19

進化とは、ただ
大きくなること、
強力になること
なんじゃない。

その時代の
環境に適応
することだ。

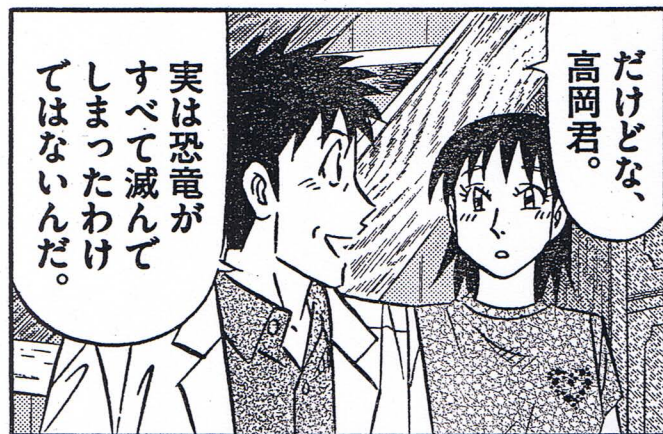
あれだけ力強く、
食物連鎖の頂点に
君臨したティラノ
サウルスも、

ほかの恐竜たちと
同じく急激過ぎる
環境の変化の前に
滅んでいった。



だけどな、
高岡君。

実は恐竜が
すべて滅んで
しまったわけ
ではないんだ。



ティラノサウルスを含む
コエロサウルスという
グループの一部に、
羽毛を備えた恐竜が
出現する。

以前から仮説として
予言されていたが、
近年中国で発見された
化石によってそれが
裏付けられた。

羽根を生やした
恐竜は骨格の
軽量化にも成功し、

樹上から地上へ
滑空することで、
大きな距離を安全に
移動できるようになる。

中生代の終わりに
それまで空を
支配していた
翼竜が減ぶと、

羽を生やした
恐竜の子孫は、
大空を支配
するに至る。

それが鳥だ!!!

恐竜の子孫は
鳥類へと姿を変え、
今も空を舞って
繁栄を続けているんだ。

そうそう...!!
お約束の報酬ですが、

